

一本の鉛筆 私も反戦訴える

無職

(京都府 86)

テレビで先日、歌手の故美空ひばりさんの生誕80周年を記念する歌番組を見ました。現役歌手の皆さんが歌うほか、ひばりさん本人がおなかからしほり出すように歌う映像もありました。その中に、忘れていた力強い一曲を聞きました。

私はあの大战が終わるまで「神風」を信じていました。女学校から神社へ必勝祈願に行きました。いつも空腹、毎日空腹。ひどい戦争の時代を乗り越えてきました。

今、世界各地でテロが続き、ミサイル攻撃も報道されました。また昔の、嫌な、わけの分からぬ空気を感じています。

私も鉛筆一本で書いて訴えます。子や孫たちも、見て聞いてほしい。戦争はいやだ。戦争はいやだ。戦争はいやだ。戦争はいやだ、と。

若者も「共謀罪」法案考えて

無職

(広島県 66)

二度と戦争をしない国にしたい、「共謀罪」法案や安全保障法制反対などと手作りしたヒラを毎月8日前後の夕方、JR福山駅前で友人と配っています。

8日なのは、1941年12月8日の太平洋戦争開戦の日を忘れないという思いからです。

「八の日平和行動」と書いたのぼりを掲げています。数年前は5割ほどの人がヒラを受け取ってくれましたが、最近はお受け取らない人が7、8割。高校生はほぼ手を出してくれません。

ここ数年、再び軍靴の音が聞こえるような国になってきた感じがし、不安を抱えています。

大切な子や孫が安心して暮らすため憲法を守るのが私たちの責任。安保法制は違憲だと思えます。今度は「共謀罪」法案の成立が迫っているのではと思うと恐ろしくてたまりません。

声欄では高齢の戦争体験者が「共謀罪」法案は昔の治安維持法を想起させると訴えておられます。与党は東京五輪のため、法案成立が必要と言いますが、真の目的は国民の監視や圧迫ではないかと私は思います。

気付いた頃には時すでに遅しとならないために、今こそ若い世代の方々も、この法案について共に真剣に考え、自由で束縛のない暮らしを私たちの手で守っていきましよう。